



大丸神戸店美術画廊 小島 重美 課長

ぎやらりー登場(その7)



★百貨店を教養の場に

昭和48年秋の大丸神戸店新館オープンと同時に、美術画廊も4Fの今のスペースに移つた。

約30坪の画廊は、ほぼ正方形で柱がないので、入り口に立つと四方がすべて見渡せ、とても広く感じられる。作家の先生方からは「作品がとても見やすい」と賛辞が寄せられているそうだ。

百貨店という地域消費産業には、絶えず商品を売つていかなければならぬという使命感がある。が、だんだん生活が多様化成熟してきた現在では、大丸としてそれだけでなく、地域文化に貢献していかなければという考え方のものに一層、美術にもぐっと力を入れてきている。

この職について一年半の小島課長は「百貨店を買ひ物だけではなく、勉強や教養の場として、お客様にご利用していただきたい」と抱負を述べる。

絵画、彫刻、版画、書画、工芸と美術全般に渡つて企画が立てられる。絵画では東山魁夷画伯、奥田元宋画伯など、工芸では藤原啓先生、清水六兵衛先生などの個展が非常に人気が高い。また、11月には二回会選抜展や清水多喜示彫塑展が催された。「美術というのは、とても根強い趣味があるし、また奥行きの深いものです。勉強しても勉強しても追いつきません。若輩ながら、お客様に負けないよう頑張ります」と粒揃いのスタッフと共に意欲満々の小島課長だ。

・12/2～12/7 創作版画協会秋季展
・12/9～12/14 羽田 真皮革工芸展
・12/16～12/21 萩本保子手作り人形展
・12/23～12/28 金井なおみと森透世油絵と型染2人展

■神戸市中央区明石町40番地
大丸神戸店4F
☎ (078) 331-8121代
月曜休

・12/4～12/9 兵庫県大東日書道展
・12/11～12/16 青翔会展
・12/18～12/23 神戸海星女子学院大学短期大学・写真展

●

画廊 錦
神戸市中央区三宮町1丁目5-30 三宮センター街
☎ (078) 331-1721～3水曜休

ギャラリーさんちか さんちか広場

市民の広場としてギャラリーさんちかおよびさんちか広場を利用ください。

★お問合せは…神戸地下街
☎ (078) 391-4024

常設展 SALON & GALLERY(北野坂)

神戸時代

神戸市中央区中山手通1丁目23-10モンシャトーコトブキビル1F
☎ (078) 242-3567
営業(昼)土曜休・スナック(夜)日曜休

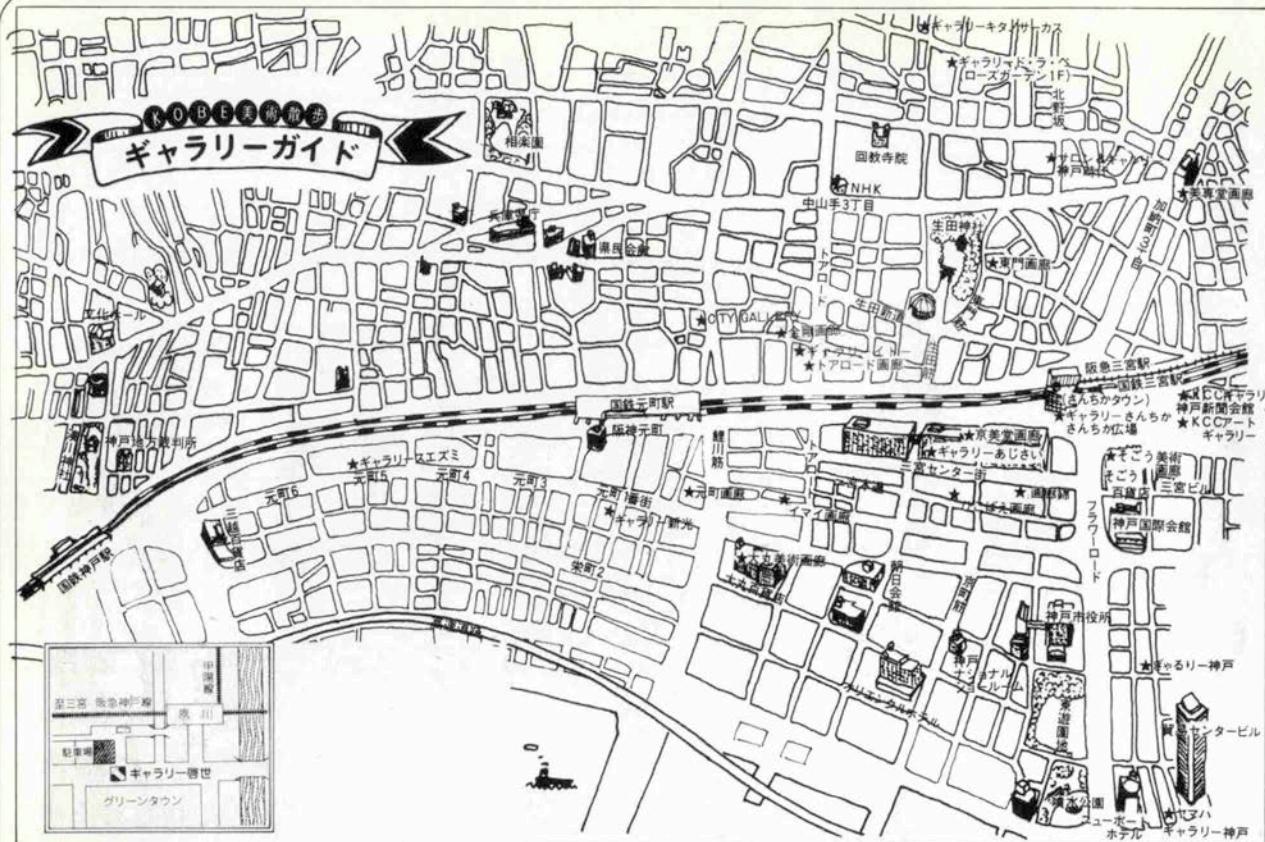
・12/4～12/12 モチーフ別版画公募展「風景」入選作品展
・12/13～12/28 阪神閣在住作家ミニアチュール展

公募のお問い合わせは

启世

ギャラリーひろせ
西宮市羽衣町7番26号アルベジオ
夙川4F(阪急夙川駅前)〒662
☎ (0798) 36-3676 水曜休

画廊 藥
神戸市中央区三宮町1丁目6-3(パレックス東隣)
☎ (078) 391-4137 月曜休



貸画廊 ギャラリー新光

画廊使用ノオ申込ハ
3ヵ月以上前ニオネ
ガイシマス。

元町通Ⅱ丁目
(078) 331-4732

元町画廊 <若木屋>

佐藤 廉

神戸市中央区元町通1丁目
7番2号(ニューもとビル)
(078) 331-2359
第1・3月曜休、第2・4日曜休

- 12/4～12/9 昭生会五人展
- 12/10～12/16 皆川月華染色展
- 12/17～12/23 吉本正陶芸展
- 12/24～12/30
迎春用床飾り展示即売会

大丸美術画廊

神戸元町・大丸神戸店4F
(078) 331-8121

- 12/10～12/13
コバー銅板の細工展

ギャラリー イトー

神戸市中央区北長狭通3丁目
12～15日経ビル5F
(078) 392-3566

- 12/9～12/14 宮脇成之個展
- 12/16～12/23
神戸陶芸研究所選抜五人展

ギャラリー あじさい

神戸市中央区三宮1丁目
9番1センター・プラザ2F
生田筋エスカレーター前
(078) 331-1639 月曜休



<p>★うろこの家</p> <p>★北野クラブ</p> <p>★お可川</p> <p>★セントジョーンズジャパン 至新神戸駅</p> <p>★グリーンヒルホテル(第2)</p> <p>★神戸YMCA</p> <p>★グリーンヒルホテル</p> <p>三本松</p> <p>不動坂</p> <p>加納町2</p> <p>加納町3</p>	<p>学生さんも外人さんも 鍋をついています 家族づれのお座敷から舞台付200人大宴会 芸芸御食事処・名物囲炉裏屋敷</p> <p>いろりや</p> <p>神戸・北野町3丁目 ☎ 231-6777(代) 営業一正午より</p> <p>神戸異人館</p> <p>うろこの家</p> <p>生田区北野町2丁目 ☎ 242-6530</p> <p>スパニッシュレストラン</p> <p>エルヴィノ</p> <p>生田区北野町3丁目 アニルドマンシン1F ☎ 241-1344 東門店 / ☎ 332-6636</p> <p>神戸割烹</p> <p>お 可 川</p> <p>中央区北野町1丁目5-7 ☎ 222-3511</p> <p>手づくりの店</p> <p>がれりあ馬亞乃</p> <p>生田区北野町4丁目46-2 キタノサーカス山側 ☎ 242-5005</p> <p>フランス料理</p> <p>北野クラブ</p> <p>中央区北野町1丁目5-7 ☎ 222-5123</p> <p>レストラン</p> <p>クインズコート</p> <p>中央区山本通2丁目13-11 ☎ 242-2469</p>	<p>舶来民芸品・アンティーク</p> <p>神戸コレクション</p> <p>北野通店 ☎ 222-2468 異人館通店 ☎ 222-3600</p> <p>ギャラリー・ティールーム</p> <p>神戸時代</p> <p>中央区中山手通1丁目23-10 モンシャトウコトブキビル ☎ 242-3567</p> <p>12月の北野町</p> <p>〈山茶花とオーバーライン邸〉</p> <p>神珠・宝石・アクセサリー専門店</p> <p>サロン・ド・パール北野 (栄光宝飾)</p> <p>中央区北野町4丁目8-3 ☎ 222-1406</p> <p>サンドイッチ・スランズ菓子</p> <p>ジャルダン・ド・フランス</p> <p>中央区北野町3丁目1-1 ☎ 222-3567</p>	<p>英國風レストラン</p> <p>St.George Japan</p> <p>中央区北野町1丁目2-17 ☎ 242-1234</p> <p>花と植木</p> <p>草 樂 園</p> <p>生田区山本通3丁目バス停前 ☎ 221-1585</p> <p>フランス料理</p> <p>ピストロドゥリヨン</p> <p>中央区山本通2丁目13-6 ☎ 221-2727</p> <p>美容室</p> <p>ブルーあきら</p> <p>生田区北野町3丁目 ☎ 221-9080</p> <p>オリジナルファッショ・ブティック</p> <p>魔女大里最世子</p> <p>中央区北野町4丁目異人館俱楽部 ☎ 222-1773</p> <p>ご宿泊・結婚式</p> <p>神戸YMCA</p> <p>中央区加納町2丁目7-15 ☎ 241-7201</p> <p>異人館のユーハイム</p> <p>ラインの館</p> <p>中央区北野町2丁目10-24 ☎ 220-6266 10:00~18:00 第3木曜定休</p>
---	--	--	--

(アイウエオ順)

坂のある町・散歩道 KITANO



中山手通り

'80 ^{restaurant} Kitano Club Christmas Party

今宵のシンデレラはどなた？彼と私、グループとファミリーのクリスマス、祝福されてお食事を…

55・12/21(日)→12/25(木)

レストラン 北野クラブ

5:00p.m.～**お1人様￥18,000**

恒例のクリスマスビュッフェ料理。
1Fナイトクラブのテーブルチャージ及びシ
ョーチャージ、税、サービス料込。

ナイトクラブ 北野クラブ

6:00p.m.～**お1人様￥18,000**

フランスシャンパン又はワイン1本、クリス
マススペシャルオードブル、テーブルチャー
ジ、ショーチャージ、税、サービス料込。

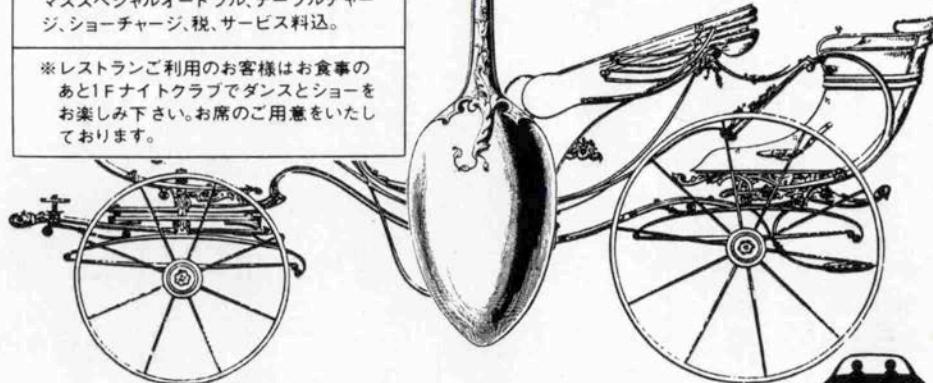
※レストランご利用のお客様はお食事の
あと1Fナイトクラブでダンスとショーを
お楽しみ下さい。お席のご用意をいたし
ております。

KITANO CLUB ON
KITANO HILLS



レストラン ナイトクラブ

北野 クラブ
神戸市中央区北野町1-5-7
☎ (078) 222-5123



年中無休駐車場有

本格的フランス料理がお気軽に召し上がりいただけます。

restaurant Blanc de Blanc

レストラン フラン ドゥ ブラン 神戸

ファッションショー・展示会
などにもご利用ください。

神戸市中央区京町77-1神栄ビル7F ☎ (078) 321-1455

心をこめた贈り物



紳士靴・婦人靴のギフトカードをご用意いたしております。

本格派の人々に愛される

コシオカ

本店/神戸大丸前 ☎078(331)5190

東京店/東急百貨店渋谷店・日本橋店・吉祥寺店・池袋バルコ・川越丸広店

星和台風景

日本の空間の美しさ

淑子 スーション(アーチスト)



「主婦にとっては動きやすさが一番ですね」と淑子さん。

都会の雑踏を背にして、山に吸い込まれるような道を行くと、すぐ目の前に星和台が広がる。車を降りると空気がおいしい。八十万m²の、この町。地図の上では木の街は坂のように区画されているが、

い込まれるような道を行くと、すこしの間に星和台が広がる。車を停めると玄関を上ると畳の香りが漂う明るい雰囲気の中。キッチンのスペースも機能的に出来ていて、主婦にはうれしい。一階の各部屋は、これに必要な家具が入つたら少し狭いようと思われる。アパートでなく念願の一軒の家なのだから、たとえば、戸棚などもう少し多く作り、部屋を広く使えると良いのにと思う。日本間はやはり日本人のものだから、落ちつきがあり、申し分ないのだが、洋間は、サロンと食堂の空間とか、壁面、壁紙や、照明の

あり、公園ありで変化に富み、一軒一軒かなり凝った個性的な家々が並ぶ。窓辺の表情から、ふつと中をのぞきたくなる。建壳の何軒かを拝見させて頃く。門、植込み、ボーチ、玄関そしてホール迄はそれぞれの家の特徴を備え好感が持てる。なんといつてもまず家の顔である。玄関を上ると畳の香りが漂う明るい雰囲気の中。キッチンのスペースも機能的に出来ていて、主婦にはうれしい。一階の各部屋は、これに必要な家具が入つたら少し狭いようと思われる。アパートでなく念願の一軒の家なのだから、たとえば、戸棚などもう少し多く作り、部屋を広く使えると良いのにと思う。日本間はやはり日本人のものだから、落ちつきがあり、申し分ないのだが、洋間は、サロンと食堂の空間とか、壁面、壁紙や、照明の

「主婦にとって動きやすさが一番ですね」と淑子さん。
「広さ」があった。逆に今、ヨーロッパでは、その日本の空間が心地良いものとして取り入れられ、障子の明りが美しいとされたりしている。それで彼らの生活との違和感がない。考えてみると、今の日本人は物を持ち過ぎるのだ。もう少し周辺を整理して、好きな空間に、本当に好きな家具、道具だけで、充分満たされた生活が出来ると思うのだが……。
そんなことを考えつ外に出る。街路樹の大きな真赤なモミジの葉が、道の奥の山はだに映えて目に



現地担当の奥芝正雄と

処理には、もっと住む人の個性が出て然るべきところだと思う。せめて幾種類かの好ましいサンプルの中から選ぶようなことは出来ないものだろうか。

今は何の家具もないこの空間を見て思うに、日本の洋間の歴史はまだ浅いのに、今の日本人は、洋間で過す時間が一日のうちで多くなってきてている。が、椅子にすわる生活空間を、まだ本当に使いこなしていないのではないか。
昔は、日本間にも、無駄のない「広さ」があった。逆に今、ヨーロッパでは、その日本の空間が心地良いものとして取り入れられ、障子の明りが美しいとされたりしている。それで彼らの生活との違和感がない。考えてみると、今の日本人は物を持ち過ぎるのだ。もう少し周辺を整理して、好きな空間に、本当に好きな家具、道具だけで、充分満たされた生活が出来ると思うのだが……。



日生鈴蘭台

ニュータウン

土地付分譲住宅

■売主 / 星和住宅株 / 星和地所株

●現地案内所 日生鈴蘭台ニュータウン内(神戸市北区星和台)
☎078(593)7071・2

●さんプラザ案内所

神戸市中央区三宮町1丁目8番1-322号

☎078(391)6696代

日本的な門構えは落ち着いた雰囲気。

出会いの元町“エポック”装いも新しく

今から10年ぐらい前に、モロッコのシー・モハメッド君と元町を歩いて「いい喫茶店やなあ」と(エポック)でお茶を飲んだのがママの金川末子さんとの出会い。インテリア担当の枚田さんも西代中学の教え子で、共に親戚のようなおつきあいだ。新しくなった(エポック)は、元町らしいハイカラさがあつて枚田佳子さんらしいデザインだ。

中西

勝

(洋画家)

写真は右から中西二夫妻 枚田/金川(2Fにて)



★Xマス・新年の
パーティに2Fを貸切予約で
ご利用下さいませ。(30名可)

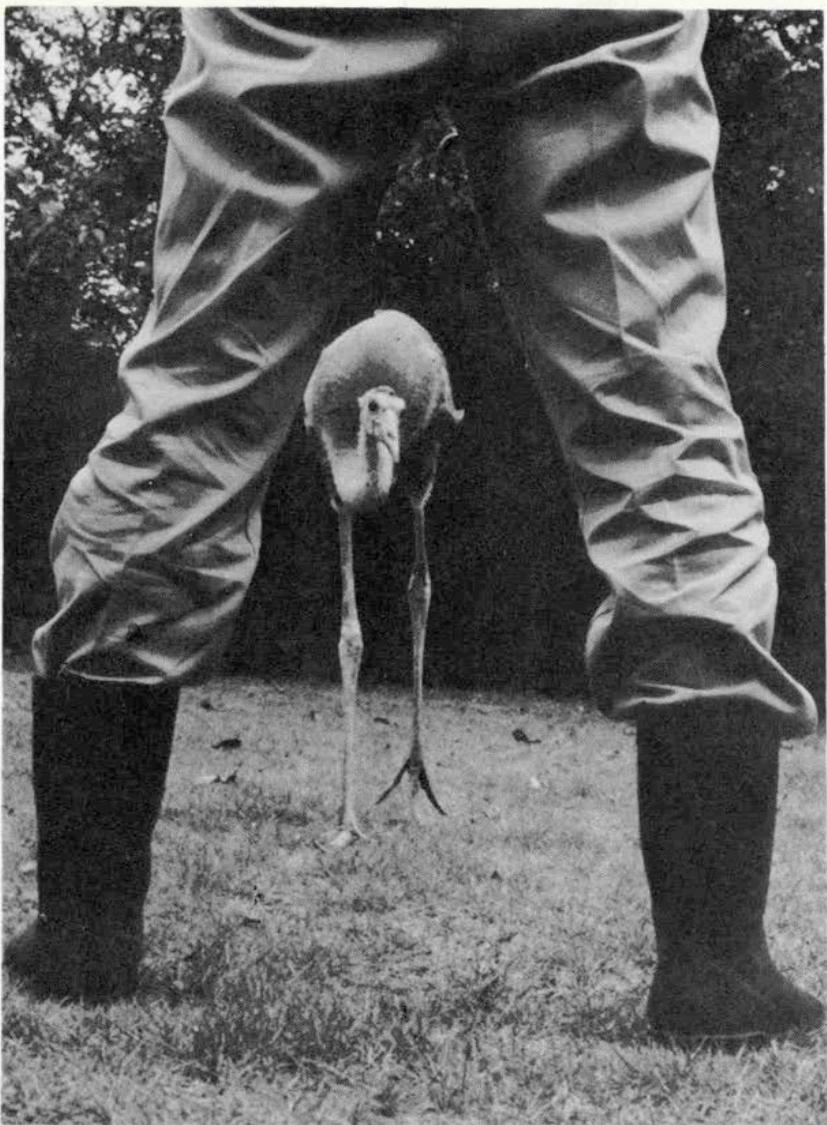
・設計/施工/管理

G-ART

枚田博史・佳子
〒653 神戸市長田区大谷町
1丁目6-13 ☎078(641)5008代



神戸市中央区元町通3丁目8-8
TEL 331-3694



動物園飼育日記

181

—亀井一成



オオヅル、ガーフ坊のすりこみ

秋が深まる頃、今年もまた、ツルの親鳥たちの大きな風切羽が、毎日のように、15本、20本と、地上に抜け落ちはじめた。風雨にさらされながらの一年、あの美しかった羽もうす汚れ、先はすり切れていることが、その抜け落ちた羽を手にしてよく分かる。年に一度はこの古くなつた羽が生え替る、つまり換羽期だ。

だが、こうした鳥たちの羽の生えかわり方にも、大変意味深いものがあることを知ることができる。もし、一度にすべての羽が抜けてしまつたのは、丸裸になつて体温は保てないし、空中を飛ぶことができなくなつてしまつだろう。だから、空中生活時間の多い鳥ほど、そうした換羽期が長い。特に飛ぶための風切羽は僅かに一本が抜け落ち、暫くしてその羽が新しく生え替つた頃になつて隣の一本が抜ける。さらにまた、左右両翼のバランスがとれるよう、同じ位置の羽が抜け落ちることにも生きるもののはばらしさを感じさせられる。

〔換羽期に飛べなくなる親ツルの愛〕



写真上はどじょうを、下はあじを食べさせている。

一方、大型で地上生活時間の長いツルたちの換羽はどうか、実にそれは不思議な愛を感じさせる程、その換羽期が雌の成育とかかわりあつてることが今年も実証された。タンチョウヅルも、インドオオヅルもそのパターンは全く同じで、春さき二羽の親鳥たちが、激しく鳴き、舞い合うラブシーズンの頃、せつせと地上に大きな巣作りをはじめると、その熱心さはオスがきわだつて、メスも共同作業に加わっていることも確認した。

2個の卵を産み、およそ32日、終夜風雨にもめげず、ひとときも冷さないで抱き続けているのだが、卵を抱く親鳥たちの方向が時折り変わつていて、何故だろう。陽さしだろうか、いや、それは明らかに風に向かつているのだった。風の抵抗を少なくする一番外側にある雨覆羽をぎゅっとひきしめ、身体を細めるように風雨に立ち向かう姿で卵を抱き続けているのだ。しかも朝、夕、深夜とオス、メスが交互に代わり、その割合は6対4、つまりオス鳥が明らかに長く熱心に抱いていることも分かつた。また、ふ化した雛の面倒も両親で、常に雛をはさむようにして地面を掘りおこし、ミズや虫をあたえ、池のドジョウや小魚を食べさせるのですが、やはりオス親の熱心さに感心させられるばかりの日々だ。そして、雛鳥たちが、本羽をもち大きく飛び立てるまでのおよそ4カ月間、親鳥たちは全く飛ぶことなく地上の生活を雛鳥と共に過ごすことになる。

その“子育て期”的4カ月に、まるで合わせたように、親鳥たちのあの巨大な風切羽が、一本ずつではなく、ばつさりと10~15本と毎日のように抜け落ち、親鳥は全く飛べなくなってしまう。どんな危険に出会おうが雛を放つて飛び立てない。身をもって守り育てる。そんな親鳥の愛を感じさせるツルの換羽期なのだ。

【残念！ガ一坊、親から離す】

ふ化14日め、『どうも2羽が捕つて大きくならない。一羽の育ちが悪い。そのうえ争いが起こりそうだ』。その心配が現実となつた。元気な雛が一方的に餌を食べ、ますます、その差が大きくなるばかり、とうとう小さい方がぐつたりうずくまつたまま、動かなくなってしまった。

親鳥の激しい攻撃をかわしながら、ようやく連れだした時には、もうだめか！と案じられたが、担当の安福さんの手厚い看病の結果、元気をとり戻し、『ガ一坊』と愛称がつけられ、再び、育ちはじめた。

毎日三~四回、焼いたドジョウを小さく切つたものやミミズなどを、ピンセットで食べさせて貰つていたが、ひとときも安福さんから離れない。どこへ行くのも安福さんを親と思って追つて行く。あつそらか、ガ一坊に安福さんが親として認知された。『すりこまれた』のであろう。実に何の疑いもなく私はそう思つていたのだ。

【ガ一坊のすりこみ異変】

確かに、ふ化後は親鳥たちを追い、餌を貰い、座つた親鳥の羽の下にもぐつて眠つていたガ一坊は、明らかに親鳥が『すりこまれて』いたはずだ。ところが、今、親鳥を見失なつた時、空腹時に餌を与えてくれる人があつた。それで生まれて認知されて、あのツルの親を忘れ、人間の安福さんを親として慕い、後ろを追いはじめたのである。こうした喜びは、本当に飼育する私たちならではの体験であることを日々安福さんはにこやかに味つていたのだった。

「ガ一坊、どこへ行くんや？」

それは、餌のあと、運動のため園内をガ一坊と散歩はじめたときのことだった。

「大きくなつたなあ！よかつたなあ！」

つい可愛らしいガ一坊に見とれて安福さんの前を横切つたことが、きつかけとなつた。あれだけ安福さんの後を追つていたガ一坊が一度も餌を与えたこともない私の後を追い、足早についてくるのだ。しかも、そうしたことは、背の低い小さな頃顕著に現われていたことに、大変な興味が持たれた。なる程、どうやら、ガ一坊は安福さんの顔や声で認知していたのではなかつたようだ。作業服や長靴が同じの者なら、誰でも追つて行くことを知った安福さん、



ガ一坊の世話をする安福さん

「何だか裏切られたような、淋しいような気がするんですよ」と取材記者にもらっていた。それに、ガ一坊は、成長するにしたがつて、ほんとの親鳥たちを意識して恐がる。散歩のなか、いろんな鳥の前も平然と餌を拾いながら散歩を楽しむにもかかわらず、生みの親オオヅル舍前を極度に嫌い、前を通ろうとしないのである。

正にそれは、生みの親より、『育ての親』ということなのだろうか。

△王子動物園学芸員／写真も△

こんにちは赤ちゃん



庄野和明くん／神戸市東灘区

完全看護★冷暖房完備★病院前公共駐車場有

芦屋柿沼産婦人科



芦屋市大枡町1番18号
芦屋市民センター(ルナホール)東南
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科 小児歯科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前9時30分

金曜日 午後1時30分

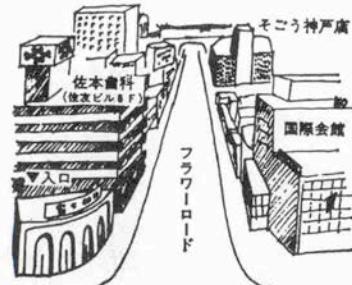
(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口

住友銀行三宮ビル6階

〒650 中央区三宮町1丁目5-1

TEL (078) 331-6302 ~ 3

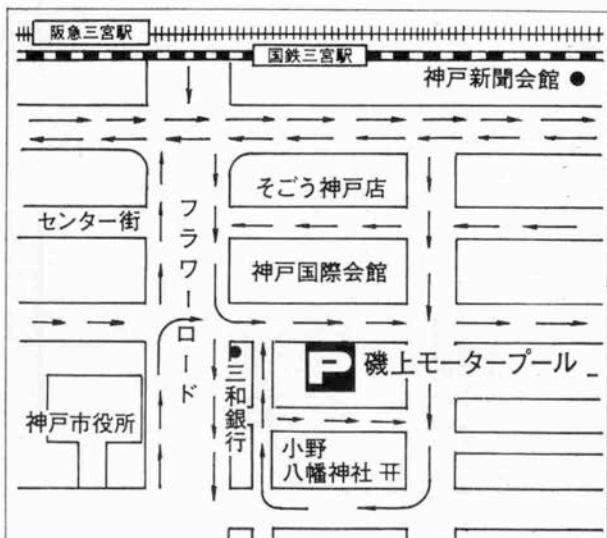




ビジネスに、ショッピングに

三宮で一番便利な

自走式立体モーターポールです



- 収容台数 300台
 - 月 極 駐 車 可
 - 年 中 無 休
- (8:00AM~11:00PM)



磯上モーターポール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873

小山乃里子の
ノコチヤン

華麗なる食べある記

△47▽かき料理 かき十
△48▽中国料理 北京樓

□かき十

★明治6年創業、親子三代のお客さんも。

一冬に一度か二度は、かき十（その男性に言わせれば九十であるが）に行って、思いきり牡蠣料理を食べなくちゃあ本当に冬が来たとは思えない、という知り合いがいる。創業明治六年、最初は、兵庫の浜につないであったかき舟だったそう。大正の頃から陸に上り、そしていつの頃からか、九十のかき店がちぢまつてかき十になつたという。

十月オープンの三月末店じまい。一年を半年で暮らすいい商売。しかし年々粒よりの新鮮なかきを手に入れるのがむづかしくなつて来たとのこと。だから今は広島だけじゃなく、伊勢、日本海ものも使っている。しかしまかき一つでよくこれだけの料理の種類ができるものだと感心してしまう。一品料理にも色々目が行くが、まずは土手鍋コースに挑戦。付出しのおからまぶし、少し甘口でまつたりしていておいしい。フライ、あつあつを口に入れたらかき独特の味がじみ出る。しようが少し

加えた京都じたてのみそが、鍋でぐつぐつい出すのを横目で見ながら、一品で頼んだかきのグラタンをいただく。すがきが目の前にあるので、加減しようと思うのに手が止らない。牛乳とバターもかきに合うなあと思いながら、次はすがき、細かくすりおろした大根、こぶの細切り、野菜のおひたしの上にすだちをきゅっとしぶり、まあなんともいえない口当り、磯の香りというのか、きれいな海から今引き上げたばかり、そんな味がうれしい。お酒がおいしく飲めますねえと言ったら、こんなのはいかがですかと、おかみさんの明子さん、かきのり巻きを出して下さった。しいたけとみつ葉、玉子やき、そしてかきが巻かれ、びりつときいたからしに、またまたグラスが空いた。

さあ、土手鍋をいただこう。かきはあんまり煮いやあいけない。鍋に入れてほんの二、三分が良い。ねぎの細切りもくちやくちやになる前、豚肉も色が変る程度、ふうふういいながら食べる。みそにもびたり、かきつてのは實に柔軟性のある食べ物なのだとあらためて思う。しかもいくら食べてもふとらない、美容食だときいでは、もういいかけん満腹なのに、またぞろ箸がのびよ





▲上／土手鍋 下左／かきフライ 中／おからまぶし
右／すがき

「品質さえ良ければ、今は広島に限らず、伊勢や日本海から取り寄せます」と話す向井明子さん



うつてもの。かき御飯、実に立派な、あかのままに入つて運ばれて来た。本うるしの台とふた。もうめつたに手に入らないしろもの。ここはかき御飯が變つていて。もちろん普通のたき込みなのだが、いただく時、わさびと大根おろしをまぜたものを上のせ、おだしをかけて、なんとかき茶漬けにするのだ。のりの風味もきいて、あつさりした味が満腹のおなかにするすると入つていった。まだこの他、生がきも食べたのですぞ。そして宮島なべという、ポン酢で食べる分も賞味し、十二月は予約で満席というのは、これはかけ値なしでうなづけると、納得と大満足で靴をはいた。

土手鍋コース／4,000円(昼は3,600円)
(4,200円) 宮島鍋コース／4,300円(3,900円)
(4,900円) (4,500円)
中央区中山手通4丁目11-20 電241-1775 11時30分～10時 営業日／10月～3月末日(12月31日、1月1～3日休み)

□北京樓

★店内に見事な菊が飾られた北京樓、創業35年。

トアロードをのんびり歩く、坂の街神戸でも特に好きな坂道。ウインンドウショッピングを楽しみながら、とんと突き当たり、そこで大抵右に折れる。私の好きなブティックのある一角だから。今日は左に折れた。

この十一月で創業三十五年という、北京樓に初めて行つた。四階建ての大きなビル。このビルになつてからは、まだ七年程だが、それ以前の、洋館だての北京樓でかの谷崎潤一郎先生がお見合いをなさつたとか。その伝統というのか、落着いた各部屋の雰囲気がそつさせるのか、今もここでのお見合いは跡をたたない。初めて出逢つた二人、なんとなく話が合ひそう。それを察した仲人さんが、二人つきりとその辺を歩いてらしたら、なんてことでそぞろ歩くにはこの辺はもつてこい。チクショリー！猛烈に食欲がわいて来た。

この道十五年という料理長の林さん、まだお若いなが

北京樓



▲上左／フカヒレスープ 右／前菜 下左／春巻とカニのツメ 右／エビのあます煮

「中国からの来賓にもよく利用していただいている」と話す朱貴生さんと料理長の林さん（右）

ら菊華殿という三百人の宴会もできる結婚式場をもつこの店を、六人のスタッフと共にがんばってらっしゃる。

今日のメニューは、什錦冷盤つまり前菜、紅焼魚鰐（フカヒレスープ）、炸両様（あげ物二種）、烹大蝦（エビのあます煮）の四種類。

まずは前菜にとりかかる。真中に堂々とひかえる伊勢エビは後回しにして、うわあ、たらこがあつた。なんともいえないおいしい味付けに煮てある。はまぐりの味もよし。チキンはガーリックの味がびりっときて、れんこんは少しあつさりめ。ふかひれスープは少し味が濃いめだったが、何杯でもおかわり出来る程おいしかった。だけのこ、えのきだけ、しいたけ、小エビ、豚肉、そしてふかひれがからみ合って、のど元を通る心持良さ。

氷さとうを少しとかした紹興酒をぐいと一口のんだ。あげ物二種というのは、春巻きとかにのつめのフライが一つのお皿に身を寄せあつてあるもの。おはしななんかじやまだるっこしいから、ぐいと爪をつかんで手で食べた。

一瞬、これがお見合いの席ならこれで一巻の終りだなあと思ったが、何事も食欲最優先。エビのあます煮、ころもとエビが一つになって、ちょっと甘さがしつこくない。

朱貴生さんのお父さん、朱相奎さんは、昔上海でロシア料理のお店をしていらしたそう。ハルビンから神戸に来られ、この北京樓を、そして息子さんがトアロードの下で「ワシリ」をやってらしたと聞いて、よく行つた懐かしいロシア料理店を思い出した。ワシリはもう無い。お父さんは今や菊造りの方で有名である。相樂園の菊花展、四回目から出品なさつて総理大臣賞二回をはじめ、大臣賞十四回というから大変なもの。各部屋に見事に活けられた大輪の菊、入口のけんがい、とつくりとながめてまたのんびりトアロードをおりた。

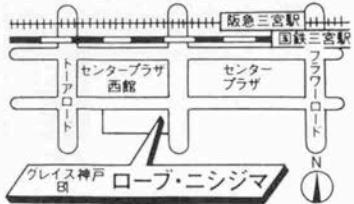
テーブル（8・9人）／30000円～70000円 一品料理／800円
中央区山本通3丁目19-3 8231-6961 10時～9時 無休

ファンション・センスを
プラスした
クリーニング



ローブ・ニシジマのサービス内容

- ファッション・メンテナンスのすべて…型くずれの防止、素材感の回復、お客様の好み通りの仕上げ
 - いつまでも美しく着るためのアドバイス



神戸市中央区三宮町2丁目10番7号 グレイス神戸 B1 ☎(078)332-2440
〈水曜定休〉

国際美容賞に輝いた月乃桂子の ケイラク美容があなたの美しさに貢献！ ——東門処置からリビング指導迄——



ビューティードック

理学美容研究所

〈専門家庭教育・通信講座もあり〉



月乃桂子先生

減量・減寸に1ヶ月～3ヶ月コース→そう身美容・バスト・腕・下半身の部分的コース→プロポーション・シミ・ニキビ・小ジワの整肌コース→整肌美顔

自宅でできるお手入れの指導コース→リビングピューティーリラクゼーションに心身美容コース→ケイラク美容・縮毛・硬毛・軟毛・育毛コース→美髪(特殊毛髪)

神戸店 中央区宮本通2-8-1 ☎078(231)5731

